

### 予防のポイント

令和元年は40件の建物火災があり、主な出火原因は「たばこ・ストーブ・こんろ・電気器具・放火」でした。

#### たばこ

- ・寝たばこは絶対にしない
- ・灰皿に吸い殻をためない
- ・吸い殻の火は水で完全に消す

#### ストーブ

- ・外出時、就寝時には必ず消す
- ・周囲に燃えやすいものを置かない
- ・洗濯物をストーブの上で乾かささない
- ・給油は火を消してから行う

#### こんろ

その場を離れるときは必ず火を消す

#### 電気器具

- ・たこ足配線をしない
- ・使用していないプラグはコンセントから抜く
- ・コンセント、プラグのほこりをこまめに掃除する
- ・コードを束ねたまま、ねじれたままの状態で使用しない
- ・電化製品の周囲に燃えやすいものを置かない

#### 放火

家や倉庫などの建物周囲・ごみ置き場・共同住宅の共用部分には、燃えやすいものを置かない

## 身に付けましょう！ 住宅火災予防のきほん

住宅火災は、きちんと予防することで発生の可能性を低くしたり、被害を最小限に抑えたりすることができます。大切な命・財産を守るために「住宅火災予防のきほん」を身に付けましょう。

### 備えましょう 住宅用火災警報器

適切な設置と管理をしましょう！

定期的(2〜3か月ごと)に次のことを確認しましょう！

#### ● 汚れの有無

ホコリや汚れで感知しにくくなります。定期的に掃除をしましょう。

#### ● 作動状況

点検ボタンを押すか点検ひもを引いて、アラーム音や音声鳴動しなければ、電池切れか故障です。電池や機器本体の交換をしましょう。



#### ● 古くなったら交換を！

経年劣化等で火災を感知しなくなる危険です。10年を目安に本体を交換しましょう。

## 火災が発生したら… 119番通報を！

局なし 119番へ電話をする

### 消防本部指令課につながったら

①「火事ですか？救急ですか？」の問いに答えてください。

②場所を正確に伝えてください。

※場所がわからない場合は、近くにいる人に聞く、公衆電話を使う、表札、看板、電信柱、塀の街区表示板、自動販売機の住所表示ステッカーを見ましょう。

③状況を正確に伝えてください。

※何が燃えているか、逃げ遅れた人がいるかを伝えてください。

④あなたの名前と電話番号を伝えてください。

### 消火器

消火器による初期消火は、火災被害の抑制に非常に効果があります。

ただし、初期消火は炎が天井に届くまでが限界です。その段階で初期消火を中止して安全な場所に避難し、後は消防隊に任せてください。

なお、一人での消火活動は自身が巻き込まれる可能性があるため、大声で周りの人に火災であることを知らせ、協力し合うことが大切です。

#### 消火器の使い方



消火器の使用は、「ゆっくり・あわず・落ち着いて」

### 防災製品を活用しましょう

防災製品は、小さな火が触れても着火しにくく、なおかつ燃え広がりにくい性質を持っています。

防災製品には、寝具、衣服、障子紙、ふすま紙、カーテン、カーペットなどがあります。

防災製品の詳しい情報

報は、公益財団法人日本

防災協会ホームページ

(<https://www.jifa.or.jp/sei>)をご覧ください。



▲防災製品ラベル

#### 通報は 落ち着いて！

指令課員の問いに「ゆっくりと・正確に・はっきりと」答えてください。



※FAXによる通報もできます。聴覚、言語機能障がいがある方を対象とした「net119」(要事前登録)、多言語通訳もあります。



安全な場所に避難してから通報してください。運転中の場合は、停車してから通報してください。

### お出かけ前、就寝前は火の元の確認を！

冬は火災の多い季節です。暖房器具などで火を使う機会も増えますので、一人一人が防災意識を持つことが大切です。火災のない年末年始を迎えましょう！

